



# 2009 Hippotizer Product Range

「ヒポタイザーV3」の登場は映像プログラミングに於いて、世界中に革新的な流れを生み出しました。

新たなプランナー参入や、コンテンツのディレクション、映像演出における創造性や手段に至るまで。その全てに新たな波を生み出す事となりました。

私達は常に世界中の現場の意見に耳を傾け、開発当初と変わらぬ情熱を製品に注ぎ込みます。業界をリードするクラス最先端の概要をご覧ください。

## 主な新機能

内蔵バッチエンコーディングを伴う進化したメディアマネージメント  
クラス最強のビデオ再生と、フレームブレンドスローモーションを伴うレンジ  
リング

**HippoNet:** ユニット間のコミュニケーションプロトコル

**ZooKeeper:** カスタム可能な直感的なユーザーインターフェース  
クラス最新のタイムライン機能

**UberPan:** マルチスクリーンマネージメントシステム  
オーディオサポート

**ScreenThief:** リモートスクリーンキャプチャーユーティリティ

**Keystone** とカラーコレクション

複数サーバーをフレーム単位で同期

**Black Level Compensation** 及びカラーキャリブレーション

**HMap2:** 照明卓とのコミュニケーション

**オートメーション:** ビデオとムービングステージエレメントとの同期

DMX, MIDI, RS232 及び TSP/IP プロトコル経由でコントロール可能  
スケジューラー・クロック

ライブメディアアップデート

ソフトエッジブレンディング

**ライブビデオ入力:** 4 系統 SD-SDI 入力カード対応 (HDとSTAGEのみ)

**PixelMapper:** LED 器具にビデオをマッピング

**ScreenWarp:** ノンリニアサーフェースにプロジェクション

カスタムビルドのケース

外部 MIDI, RS232 及び TSP/IP でのコントロール

## New Rackmount Case



見た目にも美しくスタイリッシュな外観はヒポタイザーの新たな象徴です。

独自のツアー対応設計  
堅固な内部・外部セル  
LCDフロントパネル

- \* インテリジェントクーリングマネージメント
- \* タフなツアーでも拡張カードを保持するカードリテンションシステム
- \* LED 警告機能: ソフトウェアエンジンに問題がある場合には、フロント LED が赤に変化

## Real-Time Media Engine

ヒポタイザーが成功した秘訣、それは全てのヒポタイザーをドライブするパワフルなリアルタイムメディアエンジンです。

- \* 最大16のメディアレイヤー、各レイヤーには2FXエンジンで各FXエンジンに対し最大255エフェクト
- \* フレームブレンドのスーパー慢速モーション
- \* イメージやムービーに対してアルファチャンネルサポート
- \* 複数サーバー間でフレーム単位の同期
- \* 回転、ズーム、アスペクトレシオ
- \* ブライツネス、コントラスト、RGBカラー修正
- \* スクリーンワープ又はキーストーンを使用してパースペクティブディストーション



## Built in Media Encoding / Management

ヒポタイザーの内部メディアマネージメント機能は、素早く簡単に新しいビデオクリップやイメージをインポートします。新しいクリップをメディアアップロードコンポーネントにドラッグするだけで、解析され自動的に必要に応じて最適なヒポタイザーフォーマットにエンコードされ、新たに多くのフォーマットに対応しました。

- \* 最適なフォーマットにメディアを自動的にトランスコード
- \* ユーザーフレンドリーなサムネイル環境にドラッグ&ドロップ
- \* バックグラウンドでメディアをアップロードしている最中にもショーのプログラムが可能
- \* 数千のクリップを保存可能
- \* 多くのコレクションを簡単にマネージメントできるファイルライブラリデータベース
- \* 複数のユニット間のメディア同期
- \* イメージやムービーのアルファチャンネル対応
- \* ユーザー設定可能なメディア期限日設定

## Live Inputs

ヒポタイザーは外部機器から SD-SDI, コンポジット, S-Video, 他のコンピューターからの SD-SDI 及び XGA の4ライブ入力をサポートしており、コンサートツアーやブロードキャストアプリケーションに対応可能です。

また、新開発の“Screen Thief”では、外部機器で実行しているパワーポイントや同様のプログラムのPC画面を簡易でしかも高品質にキャプチャーできる画期的なアプリケーションです。ヒポタイザーの高度なプロセッシング機能により、ライブ入力を最小のディレイで対応できます。

## ScreenWarp

ノンリニアサーフェースプロジェクションはスクリーンワープで対応できます。簡単で柔軟なイメージシェーパはヒポタイザーの標準機能です。

非常に複雑なシェープにも対応できるスプラインベースエディターバンド、ストレッチ、モーフィイメージセクションでサーフェースに対応シームレスソフトエッジブレンディング  
異なったスクリーンワープ間のモーフィしてダイナミックなサーフェースをトラック

## Networking

ヒポタイザーV3は、Green Hippo社の独自のネットワークプロトコルである **HippoNet** を通じて、複数マシンをインタラクションできる様にデザインされています。

- \* 1つのユーザーインターフェースから複数のユニットをコントロール
- \* 全てのプレビューを離れた所からモニター
- \* メディアマネージメントをリモート
- \* システムコンフィグレーションをリモート
- \* ユニット間の同期
- \* 自動検知
- \* 市販のネットワークハードウェアを使用

## Presets

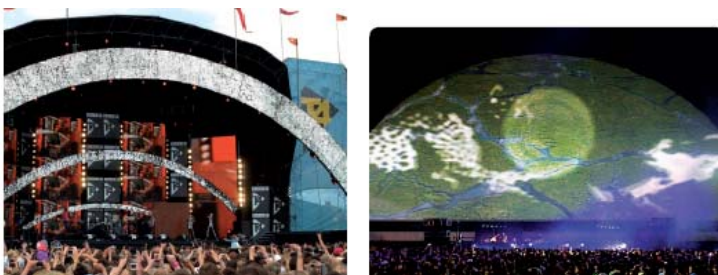
システムやメディアパラメーターを簡易に保存又は再生できます。主要なパラメーターはアイテム間又はサーバー間を移行可能。効率的なショープログラムの為のテンプレート作成に便利です。

何時でも何処でも適用できる”パレット”情報を作成  
プリセットを直接タイムライン上にドラッグ&ドロップ  
無制限なプリセット数

## PixelMapper

ピクセルマッパーは DMX 制御の LED 器具に映像をマップします。

- \* 100+の DMX ユニバースをサポート
- \* 最大10出力エンジンまたはゾーン
- \* LED“グリッド”サイズと器具ポジションを、実際の値で設定
- \* 1つのコマンドで、大規模な器具数に対し、複雑なパターンとエフェクトをプログラム
- \* 低解像 LED スクリーン使用時は予めロードされているクリップから選択
- \* LED 器具以外にもランプ、ディマー他 レベルのみの機材をコントロール
- \* 内蔵フィクスチャーデザイナーはスペシャル機能チャンネルをサポート



## Timeline

タイムラインはヒポタイザーのインターフェースに内蔵されている非常に強力なコントローラーです。洗練されたコマンドシーケンス、ステータスチェンジ、フェードを作成でき、複数のタイムラインと関連付けできます。複数のヒポタイザーでネットワークが構成されていても、マスタータイムラインクロックと提携して全てのメディアとパラメーターは完璧に同期します。

- \* マスタータイムライン内にタイムラインを挿入
- \* 複雑なキューを選択修正可能なダイヤモンド
- \* 豊富なショープレイバックインターフェース機能
- \* タイムラインから直接外部機器をコントロール
- \* DMX や MIDI で簡単に予め設定したシーケンスを簡単にトリガーしたり、Zookeeper で外部タイムコードと同期
- \* 1つのタイムラインから複数のヒポタイザーをコントロール
- \* 無制限なタイムラインとキュー; 複数のタイムラインを同時に実行
- \* 全エレメントの詳細を確認できる様に、トラックの拡大と折り畳み
- \* プリセットのドラッグ&ドロップ、スタート及びエンドタイムの調整、又は、フェードパラメーターのコントロールで複雑なシーケンスを作成
- \* ノードベースのハンドルで、任意のポイントにフェードカーブ、リニアフェード及びスイッチを使用してトータルコントロール
- \* フレーム単位の調整の為にズーム機能を、コンポジション全体を見るためにグローバルビューを使用
- \* シンプルなコマンドである“タイムラインロジック”をインサートして、“Loop Between A and B”、ポーズコマンド、“Start timeline X now”の様なコントロール行動を設定
- \* “Live Edit”モードや“Auto Track Selection”を使用
- \* 進化したグループ機能と無制限な undo/redo
- \* 進化したタイムラインリカバリーとバックアップ機能

## MIDI component

外部 MIDI コントローラーから簡単に素早くヒポタイザーの機能をコントロールすることができます。インスタントラン機能に加え、フィードバックもサポートしました。Behringer BCF2000 等のコストエフェクティブなコントロール機器で簡単にライブでショーをフェーダーコントロールできます。Zookeeper からコンポーネントにドラッグ&ドロップするだけで機能を追加することができます。



## New for 2009:

V3.0.12に続き、2009年にはV3.1のリリースを予定しています。

V3.1 では、既存の機能をより進化させ、より簡単に、より幅広く使う事を可能にし、同時にまったく新しいソフトウェアを搭載予定。ヒポタイザーが映像演出の更なる可能性を広げます。

## ScreenThief

外部 PC 画面をキャプチャーし、任意のレイヤーのソースとすることが出来ます。複数の PC の出力をキャプチャーし、複数のレイヤーのソースとして使用する事も可能です。リモートスクリーンキャプチャーは最新機能ではありませんが、ScreenThiefでは高解像度(1280x1024 推奨)スクリーンを追加キャプチャーカード無しに行うことが可能です。パワーポイントを使用したプレゼンテーションを直接ヒポタイザーに取り入れ、webページの内容をリアルタイムで表示可能となります。

## Sound Component

オーディオトラックを含むムービーをインポートするだけでヒポタイザーはオーディオに対応できます。クリップを再生するとオーディオが再生されます。クリップをリバース、スロー再生させると、オーディオも従います。簡単ですが、よりヒポタイザーを使用する領域が広がります。

## Black Level Compensation

Sencore OCT1000の様な外部Colorimeterを接続する事により、BLC コンポーネントは、全てのサーバーのカラーとブライトネスを調整して、複数プロジェクター間のカラーバランスの差を補正します。この革新的な新しいコンポーネントはプロジェクターランプの使用時間によるカラーバランスの差を補正し、マルチスクリーンを使用したショーのセットアップ時間を減少させる事が可能です。

## Simple Mode

機能を減じながら、オートブレンディング機能を採用して、簡単なショーを作成する事ができます。

## TelNet Component

新しいTelNetコンポーネントを使用して、一般的なTCPネットワークプロトコルを使用し、任意のヒポタイザーから任意のパラメーターをコントロールできます。多くの外部機器がこのプロトコルを採用しているので常設等で多くのオプションがあります。

## HMap2

このコンポーネントは、ヒポタイザーV3 と、外部の照明卓やヴィジュアルソフトウェアとの双方向コミュニケーションを確立するものです。コンテンツサムネイル、ライブプレビューやオートパッチの機能があります。卓上のサムネイルにより、デザイナー・オペレーターが簡単に素早くメディアを選択できます。レイヤーとマスターのライブプレビューによりデザイナーに低フレームレートのメディアを確認できます。オートパッチでは、マスターとレイヤーが必要とする量を自動的にパッチします。

## PhatController

PhatControllerを使用して、RS232 又はイーサネット外部機器にコマンドを送る事ができます。タイムラインにも使用できますので、プロジェクターシャッターやマトリックススイッチをコントロールする事も可能です。

## Scheduler

時刻でトリガーしたい場合、Schedulerにより、パラメーターや複数のタイムラインをトリガーする事ができます。更に、HippoNet がコンポーネントをシェアできるので、1つの時計で複数のマシンを同期し、キューでコントロールできます。設備やデジタル広告、アトラクション等でこの機能は効果を発揮します。

HIPPOTIZER 輸入販売代理店

株式会社 テクニカル・サプライ・ジャパン

〒152-0004 東京都目黒区鷹番 2-13-3

TEL 03(3791)7501 FAX 03(3791)7656

www.tsjnet.co.jp

HippoTizer